Action! 36

れんごう鳥取 フォトニュース

第 26 回定期大会特集号（2018 年 12 月 1 日）

発行・日本労働組合総連合会鳥取県連合会
発行人・本川 博孝　編集人・若月 哲郎
〒680-0847　鳥取市天神町３０―５
E-mail：tottori@tottori.jtuc-rengo.jp
ホームページ：http://www.rengo-tottori.net

定期大会スローガン

～次の飛躍へ　確かな一歩を～

― 連合鳥取 「第２６回定期大会」を開催 ―

連合鳥取は、11 月 15 日(木)、倉吉未来中心において「第 26 回定期大会」を開催し、2018 年度の活動の総括を行うとともに、2019 年度の運動方針・予算、来年４月の統一地方選挙に向けた７人の鳥取県議会議員選挙予定候補者の推薦を満場一致で決定しました。

※出席者内訳／ 代議員 115 人（うち女性 25 人・参画率 21.7%）・特別代議員 4 人・執行部 32 人・傍聴２人

来賓のみなさま （22 人臨席）

■ごあいさついただいた来賓
【写真上段左から】
下田祐二連合総合総務財政局長
平井伸治鳥取県知事
丸山陽一鳥取労働局長
【写真下段左から】
伊藤保国民民主党鳥取県総支部連合会代表
興治英夫立憲民主党鳥取県連合代表
湯原俊二元衆議院議員

※多くの祝電・メッセージもいただきました

「Action！36」フォトメッセージの取り組み

「クラシノソコアゲ応援団！ー第４弾ー」の重点取り組み“Action！36”の浸透を図るため、定期大会参加者全員で
“Action！36” とコールしました

大会・議案討議の様子

■主催者あいさつ
本川博孝会長

■活動報告・議案提案 【左から】
田中穂事務局長
吉田正副事務局長
安藤祐輝会計監査

■議長団 【左より】
後藤小百合代議員（ＵＡゼンセン）
野口美紀代議員 （ＪＰ労組）

■新規加盟組合あいさつ
ＪＡＭ山陰・
奥山義彦書記長
「ＮＯＫグループユニオン鳥取支部」「ＹＤＫサービス労働組合」を代表してあいさつ

■退任役員あいさつ
フード連合・
下田倫久前執行委員

■開会あいさつ
澤田陽子副会長

■各種委員長の報告 【左から】
資格審査委員長／長屋幸美執行委員
大会運営委員長／高濱加奈子執行委員
役員推薦委員長／松﨑浩哉副会長
選挙管理委員長／門脇直人執行委員

■新任役員
執行委員　井上匡央（日教組）
〃　奥山義彦（ＪＡＭ）
〃　中嶋逸公（交通労連）
〃　鈴木和夫（フード連合）
〃　山中征之（国税労組）

＜退任役員（大会欠席/年度途中含む）＞
前執行委員　寺谷昭人（日教組）
〃　福本和幸（ＪＡＭ）
〃　湯村謙二（交通労連）
〃　内田欣伸（国税労組）

★一緒に連合鳥取の活動を進めていきましょう
よろしくお願いいたします

第 19 回統一地方選挙　推薦決定！

第３号議案「第 19 回統一地方選挙への対応について」
（2019 年４月予定）
下記の「鳥取県議会議員選挙」に下記の予定候補者を推薦することを決定しました。

鳥取市	倉吉市	東伯郡	西伯郡
坂野綾三郎さん	奥治 英夫さん	伊藤 保 さん	福間 裕麿さん
35 歳	62 歳	66 歳	77 歳
現職２期	現職４期	現職５期	現職６期
国民民主党	立憲民主党	自治労	ＪＲ連合
		国民民主党	国民民主党

米子市		
浜田 妙子さん	森 雅幹さん	西村みつこさん
73 歳	59 歳	48 歳
現職４期	現職２期	新 人
立憲民主党	自治労	国民民主党
	立憲民主党	

上段／年齢（2019 年４月現在）
中段／議員歴
下段／推薦依頼団体（産別・政党）

― 報告・運動方針へ寄せられた質疑＆ご意見（主旨）― （青）執行部答弁

■質疑・意見を発言する代議員 【左から】
霜村卓哉代議員（ＵＡゼンセン）
江口真也代議員（自治労）
棚田　厚代議員（日教組）

①北朝鮮による日本人拉致問題について／霜村代議員
連合本部は「７つの絆」として「人権を守る」という観点から、あらゆる差別撤廃と「拉致問題」を運動方針に掲げ取り組んでいる。今日も代議員として参加しているが、仲間の菅公学生服、当時の尾崎商事で働いていた松本京子さんが米子市内で失踪し、政府から拉致被害者として認定されている。ＵＡゼンセンは拉致被害者の家族支援として街頭行動を全国で展開している。鳥取でもＵＡゼンセンヤングリーブスとして県内各地で署名活動を行ってきた。連合鳥取においても「人権問題」として、拉致問題を風化させないという観点から運動方針に掲げ、来年度以降、具体的な活動に取り組んでいただきたい。

⇒ 松本京子さんは境港出身で、我々も重々実態については承知している。連合の方針に沿って、連合鳥取国民運動局の中で議論し、今年度から「学習会」や「世論喚起」など何らかの取り組みを実現したい。

②「政策実現に向けた政治活動の取り組み」について／江口代議員
差し替え提起の「国民民主党鳥取県総支部連合会、立憲民主党鳥取県連合、連合鳥取の３者で政策協定を締結し～」について理解した。ぜひ実現し前進させていただきたい。私たちは「○○党だからやる」「○○党だからできない」とはいわない。政策実現に向け、政治活動の取り組みを前進させていただきたい。

⇒ 今日の新聞で、中央において立憲民主党と国民民主党と連合本部が 11 月 30 日に政策協定を結ぶ見込みになったと記事が出ている。その地方版で、我々は働く人、生活者の視点に立った政策実現をしてくれる議員を支援していきたい。また、わかりやすくするため整理し提起した。このことにより裾野を拡げ、しっかりと自民党に対峙できる政治を実現できれば、我々の政策ももっと前に進んでいくと確信している。

③「メーデー」の在り方について／江口代議員
今年の流行語大賞で「ジタハラ」という言葉がノミネートされている。「ジタハラ」の意味は「時短ハラスメント＝時間短縮ハラスメント」だそう。私たちが「長時間労働を是正しよう」といっていたのに、使用者が自分たちの責任を回避して「時短ができないのは労働者が悪いのだ」と置き換えて、何の手立てもなしに「残業するな」という圧力をかけている。まったく逆のすり替えが行われている状況の中で、私たちが労働時間について、年に一度、明確に意識するのが「メーデー」だ。多くの市民のみなさんに、私たちが「メーデー」を通じて訴えていけるような「メーデー」にしていただきたい。

⇒ 今は何でも「ハラ」がついて「ハラスメント」になるようだ。「働き方関連の法案」が来年４月から施行されるということで、「これにもお金がかかるので従業員の賃金も上げることができない」という使用者もいるように聞いている。鳥取県や鳥取労働局の会議、２月の経営者との意見交換等で「誰のための働き方改革」かということをしっかり提言していきたいと思う。法律では主語が「労働者」となっているので、そのことをしっかりと提起していきたい。

④「Action！36」の取り組みについて／棚田代議員
今回のスローガンの「Action！36」は「36 協定」のことで、今年はこれを中心に進めていくということと理解した。組合員の中にも「36 協定って何？」という人もいるのではないだろうか。「働くことにはルールがある」というキャッチフレーズがあったが、それの具体的なことが「36（ｻﾌﾞﾛｸ）」と思っている。
「36 協定」を結ぶことによって使用者は私たちを休日に働かせることができる、時間外も協定を結ぶことによって働かせることができる。私たちが（そのことを）しっかり学んでいかなければならない。ぜひとも重点的に取り組んでいただいて、私たち組合員が自信をもって、「それって本当に協定通りですか？」といえるように、具体的な取り組みを強化していただきたい。

⇒ ご意見に同感である。「メーデーの精神」の、①８時間は働く、②８時間は地域や家族、自分のために使う、③８時間は寝る、これがまさに「ワーク・ライフ・バランス」だと思っている。「働く」ということが寝る時間や家族との時間を阻害して「メンタル」等の問題になってしまっているというのが現実、事実である。我々組織労働者がそれを打破する取り組みをしないと誰もできない。
県内には労働組合という傘を持たない労働者が８割以上であり、しっかりと県民にも訴えていきたいと考えている。また、私たちは、学校の先生の働き方にも関心を持っている。19 市町村、会長が先頭に立って廻らせていただいた。引き続きの取り組みをみなさんと連携して行っていきたい。

大 会 宣 言

■提案　太田裕美執行委員（女性委員会委員長）

連合鳥取は、2020 年２月に結成 30 周年を迎える。この間、産業別全国組織の結集により結成された連合の旗のもと、「力と政策」をスローガンに「すべての働く人たちのために、社会の不条理に立ち向かう組織」として運動を推進してきた。
その節目を前に、この大会を次の時代の連合運動を力強く切り拓いていくための契機とし、足元をしっかりと固める期間としていかなければならない。

今わが国は、昭和と平成の時代が残した最大の課題とも言える、世界に例を見ないスピードで加速する、「人口減少、超少子・高齢化、労働力人口の減少」にどう立ち向かうかという重要な局面にある。そういった中で、連合運動が、持続可能な社会のために、すべての働く人が互いに支え合い、希望を持って働き暮らせる社会、「働くことを軸とする安心社会」の実現がより一層求められている。

６月 29 日に成立した働き方改革関連法は、罰則付の時間外労働の上限規制や雇用形態間における不合理な格差の解消に向けた同一労働同一賃金の法整備がはかられた。一方、高度プロフェッショナル制度という労働基準法上の労働時間規制を適用せず長時間労働、過労死等の危険性を増す可能性のある制度が創設されたことは、極めて遺憾である。今後私たちは、大事な内容は実効性を担保させ、危険なものは歯止めをかけなければならない。
連合は、「Action！36」と銘打って、長時間労働の是正、過労死等ゼロを願いより良い働き方の実現をめざし、36 協定の適正化や時間を大切にした働き方・暮らし方をテーマにしたフォーラム開催、街宣活動等を通じた世論喚起を強化していく。

来年は、統一地方選挙と参議院選挙が重なる 12 年に一度の極めて重要な年である。なかなか野党の力合わせの姿がみえず、一強政治はよくないとする多数の国民世論をひきつける状況にはなく厳しい選挙が予想される。
このような中にあっても、働く人・生活者が「主役」として一致団結することが何より重要である。11 月 18 日に施行される鳥取市議会議員選挙をはじめとする各種選挙において連合鳥取推薦候補全員の当選をめざし、構成組織一丸となって総がかりの取り組みを行う。

私たちはこの大会で、「連合鳥取 32,000 人に向けた組織拡大への加速」、「働く人・生活者の視点にたった政策実現」、「男女平等参画を軸とした多様性ある社会・職場の実現」等、社会変革の原動力としての労働運動を牽引し、組織力、政策力、発信力に一層磨きをかけていくことを確認した。
私たちは、確立した運動方針のもと、一丸となってすべての働く人のための労働運動を力強く展開し、その社会的役割と価値を着実に次の時代につないでいく。

いまこそ、「次の飛躍へ、確かな一歩を」踏み出そう！

2018 年 11 月 15 日
連合鳥取第 26 回定期大会